令和４年３月

関 係 各 位

東北海道少年剣道釧路大会における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本大会では、以下の新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で大会を実施いたします。選手、監督、保護者、大会役員等のすべての関係者が本ガイドラインを遵守し、安全な大会の実施にご協力をお願いいたします。

事　　前

〇選手及び監督並びに大会役員以外（例えば保護者や見学者）の体育館への入場を禁止とする。

※ただし、小学生の部に限り以下のとおり保護者の帯同を認めます。

・団体戦、個人戦共に参加する団体 → 参加１チームにつき１名

・個人戦のみに参加する団体 → 参加５名につき１名（５名未満は１名のみ可）

〇帯同する保護者及び大会役員に、厚生労働省「接触確認アプリ」の利用（ダウンロード）を推奨する。

〇大会２週間前からの健康状態を別紙「参加同意および健康チェックシート」に記録する。

※同封のチェックシートを増す刷りするか、全釧路剣道連盟ホームページからダウンロード、印刷しお使いください。直近２週間の健康状態によっては参加できない場合があります。

大会当日

〇当日朝に検温し、発熱等のカゼ症状がある選手及び帯同する保護者並びに大会役員は、参加できない。

※当日朝の体温が３７．５℃以上ある場合は、大会に参加できません。

〇入場や受付時はソーシャルディスタンスを保ちながら並ぶ。

〇体育館に入場する全ての選手、監督、保護者、大会役員等は、別紙「大会参加同意および健康チェックシート」を提出する。

※同シートに本大会の参加についての同意書がありますので、そちらも必ずご記入の上、団体ごとにまとめて受付に提出してください。

〇更衣室内での密集を避けるため、できるだけ剣道着と袴は自宅で着替える。

〇選手は試合中に面マスクとマウスガードを必ず着用する。試合中以外では家庭用マスク（面マスク可）を着用する。なお、アイガードは推奨として使用を任意とする。

〇選手及び帯同する保護者並びに大会役員は、手洗い・手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用を徹底する。なお、審判員も常時マスクを着用する。

〇選手の体育館への入場とアップを時間差で行う。

※小学生の入場・アップは 9:00 から、中学生の入場・アップは 12:30 からとします。決められた時間より前には入場できません。

〇開閉会式は原則実施しない。※試合が終了した選手は帰宅する。

〇フロアに入ることができる選手及び帯同する保護者を制限する。

※団体戦は４試合前から、個人戦は放送で指示された選手のみがフロアに入場できます。それ以外の選手は待機場所で待っていてください。

〇剣道具及び竹刀等の共用はしない。

〇常に会場の換気を行う。

〇審判旗等の道具を共用する場合は手指消毒や除菌をしながら使用する。

〇昼食をとる場合は密集しないように気をつけながら、待機場所に敷物を敷き食べる。

〇ゴミは全て持ち帰る。

大 会 後

〇大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会事務局に連絡する。

〇新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、厚生労働省「接触確認アプリ」をダウンロードしている方は速やかに陽性情報を登録する。